

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



2022年8月
Vol.13

〒669-3495
兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7
TEL:0795-88-5200(代表)

回復期リハビリテーション病棟開設

多 職種でチームを組み集中的なリハビリを実施する 回復期リハビリテーション病棟の開設

リハビリテーション部長 上本 晴信

令和4年6月1日より、丹波医療センターの回復期リハビリテーション病棟が正式に活動を開始しました。病気や怪我で入院治療を受けている状態（急性期）から、退院して日常生活へ戻るまでの状態（回復期）に必要なリハビリテーションを行う病棟になります。急性期の疾患と治療による身体的ダメージから、日常生活可能な状態までの身体機能のギャップを埋める時間と場所が必要であり、急性期治療を行う当該病棟でもリハビリテーションは行っていますが、長期に集中的なリハビリテーションは行えません。これまでは丹波市内に在住の方でも、必要な場合は近隣他市の回復期リハビリテーション病棟のある病院へ転院してもらっていましたが、これからは当院での治療継続が可能となります。

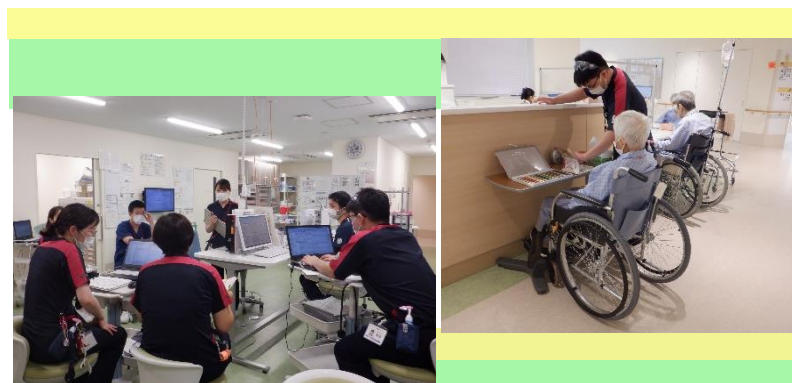
回復期リハビリテーション病棟では急性期病棟に比べ、長期的により集中的な訓練、より在宅生活に近い環境で自宅退院に向けた訓練が可能となります。理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)により、患者さんそれぞれに合わせたリハビリテーションが行われます。また、退院後も見据え、医療ソーシャルワーカー、看護師、管理栄養士、薬剤師、医師もチームとして、在宅復帰、社会復帰への手助けを行っていきたく思いますのでよろしくお願いいたします。

この病棟に入院して良かった」と 言ってもらえる病棟を目指します！

5階西病棟看護師長 杉上 恭子

今年度開設いたしました回復期リハビリテーション病棟では、骨折、脳血管疾患等で手術や急性期治療を終えた後、様々な集中的なリハビリテーションを行い、障害された機能の回復・社会や在宅への早期復帰を目指します。突然の事故や病気によって障害を抱えることになった患者さんの機能回復と残された機能の維持向上、障害を抱えての安全な生活のために多職種チーム一丸となって、リハビリテーションプログラムを作成し、住み慣れた自宅での生活に戻っていただけるよう支援していきます。「この病棟に入院して良かった」と言ってもらえるように、

患者さんご家族の想いに寄り添い、温かく優しい看護の提供と自宅で安心して生活できるように退院支援を行います。



泌尿器科

Urology

高齢者のがん治療について

泌尿器科部長 岡本 雅之

はじめまして。平成元年、神戸大学卒の岡本雅之と申します。本年4月1日付で、長年勤められた吉村光司医師に代わり丹波医療センターに着任しました。前任地の姫路赤十字病院、関西ろうさい病院、神戸市立医療センター、兵庫県立がんセンターの19年間は主に泌尿器がんの手術療法や薬物療法に携わっていました（ちなみに大学での研究も‘癌グループ’でした）。丹波医療圏域は高齢化率（65歳以上の人口が総人口に占める割合）が2020年時点で35.3%と高齢化の著しい地域ですので、高齢者のがん治療を喫緊の課題と考えており、日常診療で私なりに気を付けている点につきお話しします。

外来でよく遭遇する場面として高齢の患者さん、もしくは家族さんの『もう歳も歳だから何もしなくていいです。』とか『歳いったらがんの進行も遅いんでしょ。』といった言葉に乗せられてついつい積極的な検査・治療を躊躇してしまうことがあります。また、家族に検査や治療でできるだけ迷惑をかけたくないという思いの強い患者さんもおられ、その際は『もし癌があって、進行して症状が出てきたら、おうちの人もつらいし、かえって迷惑をかけることになるよ。』とお話して、前向きな気持ちになって頂くよう努めています。

がんは老化に伴う1事象と考えられ、要は『がんがあっても悪さをせずに寿命が全うできればよし』ですが、人生100年時代が現実味を帯びてきている中、ある程度強度のある治療を行わないと寿命が来るまで逃げ切れない場合があります。その一方、泌尿器がんではグリーソンスコア（悪性度）の低い前立腺癌や小径の腎癌では監視療法という選択肢もあります。また治療を選択する上では、下にお示しした如く、高齢者ゆえの特殊性に留意すると、期待余命（健康状態、ADL等で同年齢の方でもかなり幅があります）他の領域に関しても考える必要があります。

これまでの経験を生かして、がん治療だけではなく、できるだけ安全で質の高い医療を提供できますよう、山崎隆文医師（平成9年、神戸大学卒）と力を合わせて精進していきますのでご指導、ご鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。



写真左 岡本医師 ・ 写真右 山崎医師

高齢がん患者の特殊性

1. 疾患、併発症、背景は複雑で個々の対応が必要
2. ステージ、進行速度は非高齢者と同等
3. 身体機能・臓器機能の潜在的低下
4. 複数の併発疾患
5. ポリファーマシー
6. 認知症、引きこもり、うつ
7. 経済的困窮
8. 夫婦のみ世帯、単独世帯
9. その他

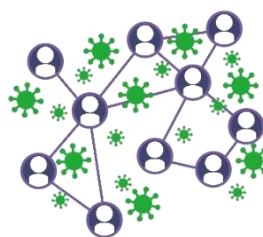
新型コロナウイルス感染症対策の 専門家派遣依頼をうけて

感染管理認定看護師 柿原 朱美

新型コロナウイルス発生から二年半が過ぎようとしています。これまでウイルスは変異してきたものの、感染対策や治療法が明らかになり、対応できる疾患になってきました。

さて、第6波では丹波圏域でも複数の施設でクラスターが発生しました。私は丹波健康福祉事務所から「新型コロナウイルス感染症に係る感染症対策専門家派遣等事業」により依頼を受け、対象施設に赴いて感染対策指導をさせていただきました。

まず、事前に発生からの経過を伺い（疫学調査）、どのようにゾーニング（区分け）できるかを検討します。そして、感染者の重症度を確認し、治療が必要な方は転院していただきます。現場に入ると、担当の方に私の考えを提案しますが、ゾーニングや物品配置など図面どおりに進められないこともあります。その都度、話し合いながら様々な工夫をし、個人防護具の設置場所や着用順序など、すべての職員が理解できるように明確にし、ゾーニングをさせていただきました。



クラスター対応は、施設に必要なケアを提供するために、職員（働く人）を感染から守ることと、感染拡大防止を重要視しています。ただ、クラスターになると、終息までかなりの労力と時間を要します。第6波、第7波以降では、それ以前の変異株と比較して無症候感染例の割合が高くなり、「熱がない」「症状がない」状況では、持込みを完全に防ぐことが難しくなってきました。持ち込まれても広げない対策（① 平時の感染対策、② 濃厚接触者をつくらない対策、③ ワクチン接種）を講ずることがポイントになってきます。



《様々なポスターを持参し、
感染防止対策を明確にしました》



《廊下にテープを貼ってゾーニングしています》



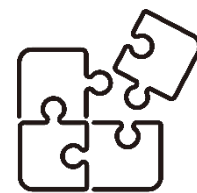
《いすを活用し、個人防護具の着用順に並べました》



《レッド（感染）とグリーン（清潔）ゾーンを
明確に区別しています》

新型コロナウイルス検査について

検査部一丸！！



teamwork

PCR検査は、新型コロナウイルスの流行により連日テレビやニュースで報道されているため、一般の方にも広く知れ渡っており、目に見えない遺伝子を増幅し検出する検査方法です。当院ではPCR検査機器を、新型コロナウイルスが流行する以前から所有しており、結核菌やマイコプラズマなどの検査に使用していました。

兵庫県立病院のPCR検査は、最初に新型コロナウイルス感染症拠点病院である県立加古川医療センターで2020年4月より開始し、当院は次いで6月にスタートしました。その当時、丹波新聞にも取り上げていただきました。また、7月には時間外の新型コロナウイルス検査を行うため、抗原定量検査を導入し、さらに12月より鼻咽頭ぬぐい液だけでなく喀痰・唾液によるPCR検査も始めました。

翌年の2021年8月には、24時間PCR検査を可能にしました。これまでに約3600件（PCR検査2400件、抗原定量1200件）の新型コロナウイルス検査を実施し、その内、約100件の陽性を認めました。

PCR検査を始めた当初、普段の業務と新型コロナウイルス検査の両立は大変でした。しかし、検査部全員で協力し、新型コロナウイルス検査に取り組みました。現在でも、担当業務の垣根を越えてPCR検査を行っています。今後、新型コロナウイルス感染症がいつ落ち着くかわかりませんが、これからも検査部一丸となり丹波圏域の医療に貢献していきたいと思っております。



《抗原定量検査機器》



《PCR検査機器一式》

6月11日（土）に、地域住民や自治協議会等の方々約200名の参加によりボランティア作業が実施されました。草で生い茂っていた当センターや丹波市健康センターミルネ、丹波市立看護専門学校の敷地周辺が見違えるような綺麗な景色となりました。

早朝より参加していただきました地域の方々をはじめとするたくさんの方々の支援に深く感謝します。ありがとうございました。



街の医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様に良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
今号は、里皮フ科クリニック 里 博文先生をご紹介します☆

里皮フ科クリニック 里 博文先生(丹波市氷上町)

今回の医院訪問は、氷上町里皮フ科クリニックの里 博文先生にお話しを伺いました。先生は平成3年の大学卒業後、京大胸部外科に入局、関連病院で肺外科を中心に研修されました。平成8年体調を崩され、母校の先輩がおられた縁で神戸大学皮膚科に改めて入局。平成14年同大学院卒業後、平成15年に現在の地で開業をされております。頭から足先まで全身を体表から幅広く診察することを心掛け、外用剤など薬だけではなく生活習慣や食事指導などから未病の状態も含め全身の体調改善を図りたい、広い意味での生きづらさ軽減を目指していると話されました。丹波医療センターに対するコメントをお願いしますと、自分の領域を越えた症例に対し、バトンを渡せる安心感があると言っていました。待合室に四国巡礼の御札を集めた額が飾ってあるのを拝見し、心の平安にも力点を置かれていることが垣間見え、その視点に共感を覚えた今回の訪問でした。 大野 記



外来診療担当表

(令和4年8月)

診療科 \ 曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	一般・初診	藤井 康和 (消化器・肝臓・腎臓)	担当医	見坂 恒明 合田 建	森 寛行	見坂 恒明 京谷 萌	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
		藤原 稜	杉本 龍	田村 証司		金 潤	
	専門 (初・再診)	河崎 悟 (循環器)	新倉 悠人 (循環器)	松本 賢亮 (循環器) 隔週	岩根 成豪 (循環器)	松本 賢亮 (循環器)	◎ 水曜 松本医師は隔週
		西崎 朗 (消化器)	星島 正彦 (循環器・腎不全)	佐藤 悠 (消化器)	西崎 朗 (消化器)	板倉 崇泰 (がん・消化器)	
	予約再診	森 寛行		藤井 康和	藤井 康和	田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと 記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ
	呼吸器	奥野 恵子	小林 和幸 奥野 恵子(腫瘍) 第1・2・3・4 午後			吉村 遼佑	◎ 第2・4月曜 午後のみ
	ペースメーカ		河崎 悟				
	糖尿病		井上 朋也		鈴木 正暉 第4 14時～ 大橋 紳一郎		
	緩和ケア		板倉 崇泰			板倉 崇泰 午後	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	がん治療 支援	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	
	脳神経内科	辻 麻人		大塚 喜久		大塚 喜久	
	腫瘍・ 血液内科 膠原病 リウマチ内科		北尾 章人		水谷 優 第1・4	中川 大章	
	肝臓				河野 誠司 上田 佳秀		
	禁煙・ 睡眠無呼吸				星島 正彦		
小児科	1 診	井上 真太郎	永井 貞之	大西 徳子	岡本 光宏	酒井 國安	
	2 診	朝貝 芳貴	岡本 光宏	朝貝 芳貴	永井 貞之	大西 徳子	
	3 診					井上 真太郎	
	専門外来 (予約)	第2・5 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経	井上 真太郎 (夜原症・循環器)		朝貝 芳貴	岡本 光宏 (アレルギー疾患)	
		山口 宏 大西 徳子 担当医 (予防接種)	酒井 國安 (アレルギー疾患)	担当医 (1ヶ月健診)	岡本 光宏	永井 貞之	
外科	一般・消化器	寺井 祥雄	担当医	藤田 恒憲	大宮 悟志	大野 伯和	
		第1・3 肝臓 木戸 正浩		濱中 統親 第2・4 肝臓 木戸 正浩		楠原 達樹	
	乳腺外科	岸 淳彦		岸 淳彦		岸 淳彦	
整形外科	上本 晴信 今井 貞之	芝 昌彦 北野 貴大 上本 晴信 (予約のみ)	上本 晴信	芝 昌彦 北野 貴大 上本 晴信 (予約のみ)	芝 昌彦 今井 貞之	◎ 金曜 芝医師は初診のみ	
リハビリテーション科	上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施	
脳神経外科	甲田 将章 (第1・3・5) 藤本 陽介 (第2・4)	岡村 有祐	担当医 (予約のみ)	岡村 有祐	井村 隼	◎ 水曜 予約診察のみ(救急対応要相談) ◎ 月曜午後 塩見医師(予約のみ診察)	
皮膚科		林 ちさ	村田 洋三	藤原 進	村田 洋三	◎ 火曜 診療開始 9:30～ 受付時間 11:00まで	
泌尿器科	岡本 雅之	山崎 隆文	岡本 雅之	山崎 隆文	兵頭 洋二	◎ 受付時間 月～木曜 11:00まで 金曜 10:30まで	
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	望月 慎介	鈴木 美奈子	
	2 診	出口 雅士	森内 航生	担当医	森内 航生	武田 晃子	
	周産期		担当医		担当医	◎ 午後のみ・予約診察のみ	
眼科	9時30分～	棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆	金光 聖隆	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30～ ◎ 林医師は予約診察のみ
			林 一	林 一		林 一 午後	
耳鼻咽喉科	午後 四宮 弘隆 (第1・3・5) 上田 隆 (第2・4)	井之口 豪	午後 蓼原 瞬	柿木 章伸	手島 直則 (第1・3・5) 古川 竜也 (第2・4)	◎ 受付時間 11:00まで ◎ 月・水曜 午後のみ	
放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診察のみ
	リニアック	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	木下 知恵子	
歯科口腔外科		岩下 和真				梶原 彰文	
		竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	◎ 他医療機関等からの紹介患者および障害者(要介護の方を含む)のみ



丹波医療センターとして4度目の夏を迎えました。新たにオープンした回復期リハビリテーション病棟も本格的に稼働し、充実した病院機能をフル活用して良質な医療提供に努めています。少しの間落ち着いていた新型コロナウイルスは、日一日と新たな波が押し寄せています。スタッフ一同、改めて感染予防を大切にしながら取り組んでまいりますので引き続きよろしくお願ひします。

